

2025-2026日中韓文化交流年記念事業

文化遺産国際協力コンソーシアム第36回研究会

日中韓における 文化遺産政策のいま

—近年の法改正をめぐる背景と展望—

2025 **9.14** (日)

13:00～17:00 (12:30開場)

会場

東京文化財研究所 地階セミナー室
東京都台東区上野公園13-43

言語

日本語

対面開催

定員：110名 (事前申し込み制)

後日アーカイブ配信

入場
無料



JCIC-Heritage



文化庁



2025-2026
日中韓文化交流年

日中韓における文化遺産政策のいま —近年の法改正をめぐる背景と展望—

近年、社会構造の変化や環境問題の深刻化とともに、世界各国の文化遺産を取り巻く状況も大きく変容しつつあり、東アジア各国においても文化遺産政策のあり方を見直す動きが見られるようになってきました。具体的には、文化遺産保護と地域社会・経済との調和や従来保護の対象とされてこなかった多様な文化遺産への関心の高まりといった、既存の保護の枠組みでは対応しきれない課題に対して、制度改革を通じた柔軟かつ実効的なアプローチが模索されてきました。本研究会では、ここ10年間に相次いで文化遺産に関する政策の転換が図られた東アジアの3か国、日本・中国・韓国の事例を取り上げ、いかなる社会的背景や政策的課題に直面し、どのような制度的対応を行ってきたのかを議論します。とくに共通の課題に対する取り組みを通じて相互理解を深めるとともに、各国が進める文化遺産国際協力の最新状況についても情報共有する場となることを期待します。

プログラム

13:00~13:10	開会挨拶 趣旨説明	小嶋 芳孝 (文化遺産国際協力コンソーシアム東アジア・中央アジア分科会長 / 金沢学院大学 名誉教授)
13:10~13:50	講演 1	日本の文化財保護政策と文化遺産国際協力 塩川 達大 (文化庁文化資源活用課 課長)
13:50~14:30	講演 2	中国における文物保護法の改正及び文化遺産国際協力の現状 杜 曉帆 (復旦大学文物与博物館学系 教授)
休憩 10分		
14:40~15:20	講演 3*	国家遺産基本法と国家遺産体制への転換 ベク・ヒョンミン (国家遺産庁革新行政担当官室 行政事務官)
15:20~15:40	講演 4	国家遺産庁の国際協力 パク・ヒョンビン (国家遺産庁遺産政策局国外遺産協力課 課長)
休憩 10分		
15:50~16:55	ディスカッション	モデレーター : 海野 聡 (東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 准教授) コメンテーター : 八並 廉 (九州大学法学研究院国際関係法学部門 准教授) パネリスト : 上記登壇者 + 友田 正彦 (文化遺産国際協力コンソーシアム事務局長 / 東京文化財研究所 副所長)
16:55~17:00	閉会挨拶	青木 繁夫 (文化遺産国際協力コンソーシアム副会長)

*韓国語による講演 (逐次通訳あり)

申込方法

申込フォームよりお申込みください。

申込締切日 **9月10日(水)**

<https://www.jcic-heritage.jp/news/36seminar/>



アクセス

〒110-8713 東京都台東区上野公園 13-43
東京文化財研究所地階セミナー室

- JR 鶯谷駅南口より徒歩7分
- JR 上野駅公園口より徒歩13分

お問い合わせ

文化遺産国際協力コンソーシアム事務局

(独) 国立文化財機構 東京文化財研究所 文化遺産国際協力センター内
〒110-8713 東京都台東区上野公園 13-43 E-mail: consortium_tobunken@nich.go.jp
Tel: 03-3823-4841 Fax: 03-3823-4027



X (旧 twitter) https://x.com/jcic_heritage
Facebook <https://www.facebook.com/jcicheritage/>
YouTube <https://www.youtube.com/@jcic-heritage6907>